

建設廃棄物抑制への取り組み

建設廃棄物の発生量データは、インターネットを利用した建設副産物管理システムで一括管理し、データの内容を分析・精査することによって、建設廃棄物の削減活動に役立てています。

建設廃棄物発生量の推移

2019年度の建設廃棄物発生量は65.4万トンで、シールド工事で排出した大量の建設汚泥の影響で前年度に比べて全体で約13%増加しました。土木では約42%増加し、建築では約35%減少しています。

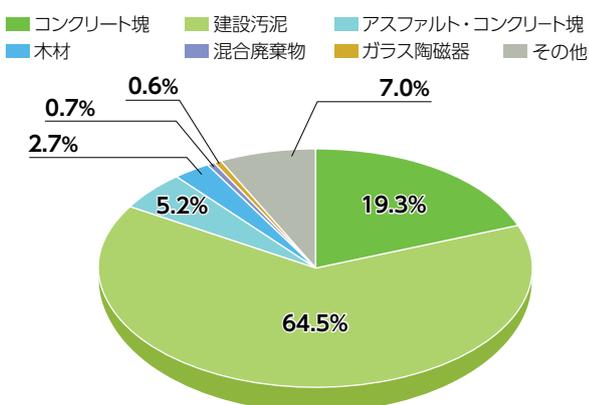
建設廃棄物発生量の推移



建設廃棄物の種類別比率

コンクリート塊、建設汚泥の2品目合計の全体発生量に対する占有率は依然として大きく、全体の約84%を占めています。

建設廃棄物発生量の種類別比率(2019年度)



現場やオフィスでの取り組み

資源の有効活用や環境負荷低減活動に取り組んでいます。



建設現場での分別



オフィスでの分別

その他の環境関連データについては、当社ウェブサイトをご覧ください。

CSR / 社会・環境 → 奥村組環境自主行動計画

(<https://www.okumuragumi.co.jp/environment/eiap>)